

突撃!「極意」伝承道場!!

吉岡 伸先生 (白馬村立白馬中学校)

英語^{学習} 授業^{づくり}



主体的に英語に取り組む生徒たち! 英語の授業で大切にしたい点を学ぶ!!

10月20日(木)に白馬中学校で行われた吉岡伸先生の「極意」伝承道場に参加させていただきました。白馬中からは、雪をいただいた「白馬岳」「杓子岳」「白馬槍ヶ岳」を仰ぎ見ることができ、すばらしいロケーションでした。

はじめに、吉岡先生の授業(3年生)を参観させていただきました。素晴らしい天気同様に、生徒の学びも最高でした。吉岡先生の生徒の意欲を高める指導や生徒に寄り添い、生徒の思いを大切にした支援、本時のねらいを分かりやすく生徒に伝える技術と、道具としてタブレットを活用できる生徒の力などが相まって、生徒は考え続け、自分の思考を深めるためにグループでの活動等に取り組んでいました。全員が自分の考えをもち取り組んでいる姿は感動的でした。ICTの活用が生徒の自主性を伸ばし、英語表現の共有が簡単に図られる様子を見せていただきました。

授業後は研究会と伝承道場が行われました。研究会では生徒がトピックに対する考えを書き、友だちが反論を書くという活動を通して自分の考えを深めていく姿や友との関わりの姿が紹介されました。また、日頃から取り組んでいる和文和訳(「朝飯

前だ」を「とても簡単だ」と読み替えて英語で表現する)について話題になりました。休憩後は、吉岡先生からWriting活動(①意欲的に書くにはどうすればいいか、②どうすれば生徒は書けるようになるか)についての取組を紹介していただきました。相手意識をもつことや目的・場面等を設定することの大切さ、教科書の内容に沿った吉岡先生の具体的な取組について教えていただきました。吉岡先生のねらいを明確にした指導や、英語指導でどんな点を大切にすることを受講生は積極的に学び取っていました。

吉岡先生は、「英語教育に真摯に向かう先生方との時間から力をもらっています」と受講の先生方の熱心な取組に感謝をされています。

吉岡先生の道場は、「言語活動の中で、生徒が自分たちで、また教師とのやり取りをしながら表現を豊かにしていく授業と一緒に考える」道場です。受講者が英語教育の本質を学ぶ講座です。

○Writing

について学ぶことができました。

書く→話す、話す→書く、聞く

→書く、読む→書く、様々な方法で5技能を

横断的に学ぶことができることは本当に面白く、

1つの手立てにもなると感じました。日々の実践の中

から悩むことは多いですが、そんな悩みや困り感を

「極意」伝承道場に行って、みんなで話をし、実

践について教えてもらえることはすごくあり

がたいです。

受講者の
感想から

○Writing Debateはやったことない活動だったので、授業全体が新鮮で

勉強になることばかりでした。間違いを恐れずにどんどん書いていく生徒たちの姿に驚

きました。吉岡先生の暖かい雰囲気での授業や、間違いを端から指摘するのではなく、内容に

関してコメントをしているとおっしゃっていたことの積み重ねが、この姿につながっているのだと

感じました。後半では具体的な取組を紹介していただきました。和文和訳は具体的な取

組みを初めて知ったので、ぜひ実践していきたいと思いました。

○ライティングの授業は、いつもうまく

いかずに困っていたので、とても勉強になりました。グループ

になることで、相談しやすい環境になったり、前の人表現をまねでき

るので苦手な生徒も書けるようになっていた。最後に、もう1度意見を

書くことで、1時間の授業の中でどれくらい力が付いたか自分

で分かるような授業展開だった。

